



町で良く見かけるキッチンカー、その中から今回は、庁舎に出店してくれた2台、「Bulblue cafe stand」と「おさかなキッチン」のおふたりにお話を伺いました。八丈島へ移住してからのキッチンカー営業の魅力や苦労について、ざっくばらんに語っていただきました。

■ キッチンカーを始めたきっかけを教えてください。

(Bulblue) 大金あやさん 島に来たのが2020年で、翌年にキッチンカーを始めました。もともとやるつもりで車を持ってきて、偶然出会った整備士さんに改造をお願いしたんです。

(おさかなキッチン) 小崎阿理さん 私は2020年に移住して、キッチンカーは2024年3月からスタートしました。

■ 店名の由来は？

あや 八丈島でよく見かけるイソヒヨドリ（イソッココ）のように、島の暮らしに自然と馴染む存在になりたいと思って。英語名の「Bulbul」と「八丈ブルー」を掛けて「Bulblue」と名付けました。

阿理 私は「いい感じの響きだな！」って感じで、フィーリングで決めました（笑）

■ 八丈島にキッチンカーって似合いますよね？

あや ほんとにそう思います。自然の音がBGMになって、島そのものがカフェみたい。ホームページにも「島全体がカフェスポット」って書いてるんですよ。夏は底土海水浴場で「海辺のキッチンカーズ」と称して、みんなで海の家を盛り上げています。

阿理 でも始めてみたら想像以上に大変でした！風の強い日が多くて…お祭りとかイベント出店はすごく楽しいんですけどね。

■ キッチンカーをやって良かったことは？

阿理 やっぱり人との出会いですね。すごく増えました。

あや 自分らしく働けるのが嬉しいですし、これから挑戦する人のお役に立てたら、と思っています。

■ 天候が悪い日も多いですが、材料の調達はどうですか？

阿理 使えるものは島のものを使っています。コラボ商品で、島内の生産者の方から「一緒にやろう」と声をかけてもらえるのがすごく嬉しいです！どんどん声をかけてください！

あや できるだけ島の中でまかなうようにしています。長期欠航が続くと牛乳が手に入りづらくなりますけど…。

■ 商品はどうやって考えていますか？

あや お客様との会話がヒントになります。考え込まずにピンと来たらやってみるタイプ。この前も八生から「タピオカ飲みたい！」って聞いて、すぐに取り入れました（笑）

阿理 主力商品のフィッシュバーガーは主人が考えました。レシピもオリジナルで、色々な調味料を組み合わせると美味しくするのが得意なようです。あとは思いつきでひらめいたものを作ってみたりしています！

■ 島の人たちをお客さんとして見た印象は？

あや 島の皆さんは気さくで温かくて、いつも支えられています。

阿理 X（旧 Twitter）での反応も、みんなあたたかいです。正直で真っ直ぐな人が多い印象です。



おふたりとも、ありがとうございました！
島の暮らしに寄り添いながら、キッチンカーという形でたくさんの人に笑顔をお届けしている姿が印象的でした。これからも、島のいろいろな場所で活躍されるのを楽しみにしています！（構成：八盛隊）

問い合わせ 企画財政課企画係 ☎ 2-1120